「盗賊のお宝あつめ」 初級　2－4人　20－60分

初級編は簡単な足し算ができるお子様から遊べるルールになっています。
スティール（盗む）システムは上級ルールになりますので、初級の基本ルールをマスターしたら別紙の「盗賊のお宝あつめ」上級をご覧下さい。
（上級ルールでは基本ルールと共通する部分を一部省いて記述しています。）

カードに描かれた絵柄（お宝）で「役」を作り、
その順位に応じて配布される得点チップの数を競うゲーム。
依頼人が望むお宝を集めることでより多くの点数を稼ぐことができます。

ゲームはクオーター制（4回戦）で行い各クオーターで得たチップの合計が
一番多いプレーヤーが最終的な勝利者となります。

ゲームの流れ

「盗賊のお宝あつめ」は同じゲームを4回繰り返し獲得したチップの数を競います。

ゲームの流れ

a 準備
クオーター開始
b プレイ
c 得点計算
d チップ配布
クオーター終了
a～dを4回繰り返す
ゲーム終了

a.準備
まずはゲームを始めるための準備をします。

b.プレイ
各プレーヤーは自身の手番で「役の作成」や「手札を交換」してゲームを進めていきます。

c.得点計算
山札が「0」になるか誰か1人が「役」を4つ揃えた時点で1クオーターが終了します。各プレーヤーは完成した「役」の合計ポイントを計算します。

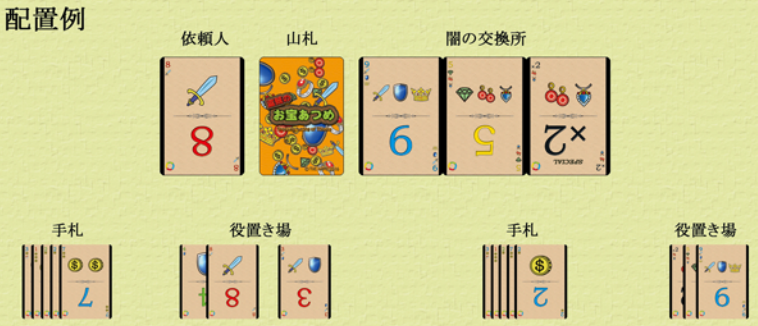
d.チップの配布
ポイントの数値により順位を決め、それぞれにチップを配布します。
配布が完了したら1クオーターが終了します。
「a.準備」に戻り次のクオーターを開始します。

a～dの行程を4回繰り返すとゲームが終了します。
一番多くチップを獲得したプレーヤーが最終的な勝利者となります。

a.準備

カード40枚を裏向きにしてシャッフル（切る）したあと裏向きのまま手札が5枚になるように各プレーヤーにカードを配布します。
次に「依頼人」を決めます。山札の一番上のカードを1枚引き表向きにして山札の左に配置します。
これが依頼人が特に欲しいお宝（ボーナスポイント）になります。
最後に「闇の交換所」を設置します。山札から3枚引き表向きにして山札の右側に配置してください。

配置例



ゲーム開始

「a.準備」が完了したらゲームをスタートします。
はじめにスタートプレーヤーを決めます。
決め方は自由ですが、せっかくですのでゲームのタイトルに因んで「最近一番スゴイお宝を手に入れた」プレーヤーから始めましょう。

1クオーターが終了したら、前のクオーターで1位を獲ったプレーヤーから次のクオーターを始めます。

4クオーターが終了するまでにより多くのチップを集めましょう！

b.プレイ－1

各プレーヤーは自身の手番で「1. 役を作る」か「2. 手札交換」のどちらかひとつだけ実行できます。
パスはできません。

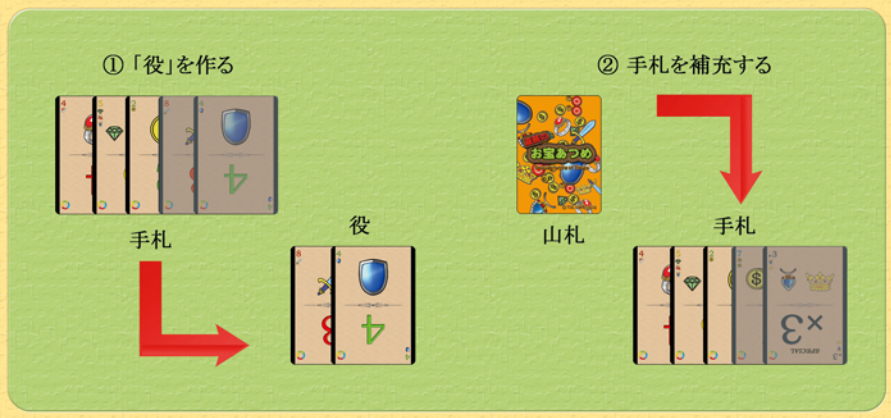
1. 役を作る

役表を参考に手札の中から得点となる「役」を作ります。
使用するカードの枚数に制限はありませんので、条件が揃えば1枚でも3枚でも「役」を構成することができます。
ただしアイテムが役表のアイテムと異なる場合や数（重複含む）が異なる場合は「役」として成立しません。

アイテムの種類　金貨　剣　宝石　指輪　盾　耳飾り　首飾り　王冠

完成した「役」は他のプレーヤーにも見えるようにカードを表向きにして自身の「役置き場」に配置していきます。

1回の手番で作れる「役」の数は1つだけです。
すでに完成されている「役」に新たにカードを追加することはできません。

「役」が完成したら、使用した枚数分を山札から補充します。

これで手札がスタート時と同じ5枚になります。
自分の手番が終了するときに必ず手札が5枚揃っていることを確認して下さい。
手札の補充が完了した時点で手番の終了となり左隣のプレーヤーに手番が移ります。
次回も「役を作る」場合は「①役を作る」と「②手札を補充する」の手順を繰り返します。